

# 悠久の祈り

# 醍醐寺の至宝

2019  
令和元年

10/15 (火)  
12/10 (火)

中国・上海市の上海博物館、並びに西安市の陝西歴史博物館において、「醍醐寺展」が2016年(平成28年)に開かれました。そして、2018年から2019年にかけて、中国での展覧会を記念した「醍醐寺展」が東京のサントリー美術館と福岡の九州国立博物館で開かれました。

中国と日本で100万人を超える人々が会場を訪れ、醍醐寺の所蔵する仏像や仏画、それに古文書等を鑑賞しています。

この秋期特別展では、中国、そして東京、福岡で公開した作品の中から特に関心を集めた作品をご覧ください。国宝の五大尊像をはじめ、快慶作の不動明王坐像(重文)や俵屋宗達筆の扇面散図(重文)など、国宝15点、重要文化財31点を含む約80点余を展示します。

平安時代から多くの人々に支えられ、伝承されてきた醍醐寺の祈りの姿を、ぜひご覧ください。



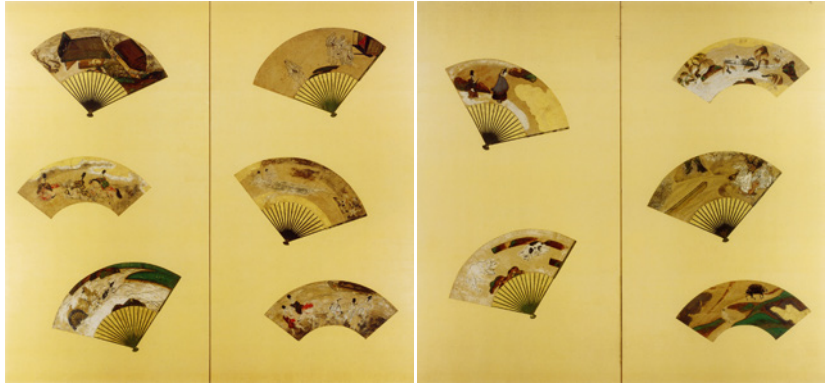
1.



2.



3.



4.



5.



6.

1. 国宝 文殊渡海図 鎌倉時代
2. 重要文化財 金銅仏具 九結杵 中国・宋時代
3. 重要文化財 金銅仏具 金剛盤 鎌倉時代
4. 重要文化財 扇面散図 俵屋宗達筆 江戸時代
5. 重要文化財 不動明王坐像 快慶作 鎌倉時代
6. 重要文化財 大日金輪像(胎蔵界) 鎌倉時代

アーティスト・スペース展  
2001年(平成13年)の霊宝館リニューアルに伴い、現代作家の作品展示の場として新設されたスペース。これまでの展示作品の一部を公開します。

### ●拝観時間

午前9時～午後5時

※拝観券発券は閉門1時間前まで(入場は閉門30分前まで)

※休館日なし。ただし、11月13日は仏像棟のみ開館(本館・平成館は閉館)。

その他、行事等の都合により変更の可能性あり。

### ●拝観料(三宝院・伽藍の拝観含む) ※季節により変動あり

大人1,500(1,300)円、中高生1,000(800)円

※( )内は20名以上の団体料金 ※小学生以下無料

### ●交通案内

・市営地下鉄東西線「醍醐駅」下車 ②番出口より徒歩約10分

・京阪バス22・22A系統「醍醐寺前」、301系統「醍醐寺」下車すぐ

## 総本山 醍醐寺

〒601-1325 京都市伏見区醍醐東大路町22

Tel. 075-571-0002 <https://www.daigoji.or.jp/>

